

加東市立学校 I C T活用支援業務委託 事業者選定審査基準

【採点の基本指標】

審査委員は、各項目の「評価の着眼点」に基づき、以下の5段階を基準として採点を行うこと。

原則として、「可（配点の60%）」を標準的な提案の基準点とし、加点・減点を行う。

○優（配点の100%）：着眼点を完全に満たしており、本市の期待を大きく上回る極めて優秀な提案である。

○良（配点の80%）：着眼点を概ね満たしており、本市の期待を上回る優れた提案である。

○可（配点の60%）：着眼点を最低限満たしており、標準的な業務遂行が可能と判断できる提案である。
（※基準点）

○不可（配点の40%）：着眼点の一部を満たしておらず、業務遂行にやや不安が残る提案である。

○劣（配点の20%以下又は0点）：着眼点を満たしておらず、提案内容が不十分である、または記載・提案がない。

【審査基準表】

評価の項目	評価の内容	評価の着眼点	配点	採点の目安 （5段階）
【実績・体制】 <u>事務局採点</u>	I C T支援員派遣業務委託について、豊富な経験や実績を有しているか。	・類似規模の自治体での受託実績があるか。 【優】直近3年間で同規模自治体の受託実績が3件以上ある。 【可】受託実績が1件以上ある。	10	優:10 良:8 可:6 不可:4 劣:2～0
【体制】	業務遂行のための適切な体制（人員配置・役割分担等）となっているか。	・支援員欠員時の代替要員の確保は確実か。	5	優:5 良:4 可:3 不可:2 劣:1～0
【体制】	教育委員会及び学校から I C T支援員への指示及び連絡を円滑に行うための工夫があるか。	・緊急時や日常の連絡手段が明確か。 ・業務報告（日報・月報等）の仕組みが効率的か。	5	優:5 良:4 可:3 不可:2 劣:1～0
【危機管理】	危機管理体制（事故・欠員・トラブル・個人情報の取り扱い等）は適切か。	・重大トラブル時の報告・対応フローが確立されているか。	5	優:5 良:4 可:3 不可:2 劣:1～0
【方針】	経営方針及び業務に関する基本方針が、本市が求める業務目的の達成に適しているか。	・加東市の教育課題や現状を理解した提案か。 ・教育の質向上への熱意やビジョンが感じられるか。	10	優:10 良:8 可:6 不可:4 劣:2～0
【支援員育成】	支援員が十分な支援を行えるよう、研修やミーティングを的確に行うことができるか。	・配置前の初期研修だけでなく、継続的な研修の仕組みがあるか。	10	優:10 良:8 可:6 不可:4 劣:2～0

評価の項目	評価の内容	評価の着眼点	配点	採点の目安 (5段階)
【提案力】	授業支援・教材支援及び校務におけるＩＣＴ活用について、独自の具体的な提案を積極的に行うことができるか。	・一歩踏み込んだ提案ができる仕組みがあるか。 【優】他自治体や他校の好事例を「月１回以上」の頻度で定期的に情報提供・共有する仕組みがある。	10	優:10 良:8 可:6 不可:4 劣:2～0
【教員研修】	ＩＣＴ支援員は、教員に対する研修や打ち合わせを積極的に行えるか。	・多忙な教員に配慮した工夫があるか。	10	優:10 良:8 可:6 不可:4 劣:2～0
【独自提案】	学校における効果的なＩＣＴ活用について、独自の提案はあるか。	・仕様書で求めている業務以外の付加価値の高い提案（情報モラル教育、プログラミング出前授業等）があるか。	10	優:10 良:8 可:6 不可:4 劣:2～0
【学習コンテンツ(アプリ)】	提案されるＩＣＴ学習コンテンツは、基本方針の要件を満たし、操作性が高く、優れた機能を有しているか。	・必須要件（自動採点、アダプティブ等）を満たしているか。	10	優:10 良:8 可:6 不可:4 劣:2～0
【学習コンテンツ（活用）】	ＩＣＴ支援員は、導入するコンテンツの機能（つまりき分析等）を効果的に活用し、具体的なサポートを行えるか。	・支援員が学習データの見方や活用方法を教員にレクチャーし、伴走する体制が整っているか。	5	優:5 良:4 可:3 不可:2 劣:1～0
【プレゼン】	企画提案書の内容を的確に分かりやすく説明できているか。また、質問に対する応答が迅速かつ明確か。	・専門用語を多用せず、誰にでも分かりやすい説明だったか。 ・質疑に対し、的確で誠実な回答ができていたか。	5	優:5 良:4 可:3 不可:2 劣:1～0
【価格】 事務局採点	見積金額は、企画提案の内容及び業務実施体制等に対して妥当であるか。	・提案内容に対して価格が妥当か。 【優】見積限度額に対して「10%以上」安価な提案である。	5	優:5 良:4 可:3 不可:2 劣:1～0
合 計			100	